

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：12月第4、5週目）

- 1 観光部門が2024年のGDP成長を牽引
- 2 12月のインフレは安定
- 3 第3四半期の経済成長率は2.27%
- 4 貿易赤字は66%減の4,400万米ドル

1 観光部門が2024年のGDP成長を牽引

2024年が明日で終わりを迎える中、ロジ観光・ホスピタリティ産業大臣は、2024年が観光産業にとって大成功の年であったと宣言した。ビクトリアフォールズで同省とジンバブエ観光局によるキャンペーンを主導したロジ大臣は、2024年の観光は前年を上回る成果を上げ、今年最初の9か月間で国内総生産（GDP）の12%に貢献し、気候変動と世界価格の下落の影響を受けた農業と鉱業を上回った。大臣は、今年の大きな成果の1つは、7月にビクトリアフォールズで「アフリカのガストロノミー観光に関する国連観光地域フォーラム（United Nations Tourism Regional Forum on Gastronomy Tourism for Africa）」を初めて開催したことであると述べた。また、ジンバブエはビクトリアフォールズに建設される「国連観光ガストロノミー学校（UN Tourism Gastronomy School）」の開設権を初めて獲得し、ジンバブエを世界が選ぶ旅行先とした。大臣は、この成功はMICE観光のおかげだとした。（30日付ヘラルド紙1面）

報道リンク：<https://www.zimbabwesituation.com/news/tourism-sector-leads-gdp-growth-in-2024/>

2 12月のインフレは安定

ジンバブエの12月のインフレ率は、ジンバブエ中央銀行（RBZ）が設定した5%の目標と国際通貨基金（IMF）の予測である7%の範囲内に収まり、当局の永続的な物価安定の目標に向けて大きな進歩がみられた。ジンバブエ国立統計局（ZimStat）が報告した12月のZiG建て月間インフレ率は3.7%で、11月の11.7%から大幅に低下した。ZimStatは、この減速は、特に非食品部門における物価の安定によるものとした（9.7%から3.2%に低下）。食品およびノンアルコール飲料のインフレ率も15.7%から4.6%に大幅に低下した。米ドル建ての前月比インフレ率は0.6%に上昇し、前月のほぼゼロ・インフレから反転した。食品およびノンアルコール飲料のカテゴリーが0.0%から1.9%に急上昇した一方、食品以外のインフレ率は0.0%で横ばいだった。ZimStatはまた、米ドル建ての年間インフレ率が2.5%であり、年間を通じて価格上昇が緩やかであることを強調した。

ZiGインフレ率はRBZの閾値内に収まっており、比較的高い水準にとどまったが、減速は大幅な安定化を示唆している。逆に、米ドルインフレ率のわずかな上昇は、外貨建ての輸

入商品またはサービスの潜在的な脆弱性を示している。2025年を迎えるにあたり、インフレ管理は引き続き優先事項となるだろう。(30日付ヘラルド紙ビジネス1面)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/december-inflation-tallies-rbz-targets/>

3 第3四半期の経済成長率は2.27%

ジンバブエ国立統計局 (ZimStat) によると、ジンバブエの2024年第3四半期国内総生産 (GDP) は1,051億 ZiG で、前四半期の1,026億 ZiG から2.37%成長となり、ジンバブエ経済は堅調を維持した (固定価格による比較)。ZimStat は、この成長は、「電気・ガス」が22.2%という驚異的な伸びを見せるなど、いくつかの主要セクターで堅調な業績がみられたためだとしている。「宿泊・飲食サービス」も1.9%増でこれに続き、「水道供給」は9.9%増を記録した。卸売・小売業はGDPへの最大の貢献部門としての地位を維持し、第3四半期の総額の18.02%を占めた。ZimStat は、「鉱業のシェアは戦略的重要性を反映して15.15%に上昇し、製造業は前四半期からわずかに減少して12.50%の貢献となった」と述べた。しかし、一部の部門は低調な業績を経験した。農業、漁業、林業のGDPへの貢献は、前四半期の9.90%から、調査対象の四半期では9.07%に低下した。第3四半期は夏季耕作シーズンの準備期間であるため、農業の落ち込みは予想されていた。同様に、建設部門のシェアは2.85%に低下した。ジンバブエの実質GDP成長率は、干ばつ、鉱物価格の低下、マクロ経済の課題など、さまざまな要因により、2023年の5.3%から2024年には2%に低下すると予想されている。(31日付ヘラルド紙ビジネス1面)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-records-227pc-quarterly-gdp-growth/>

4 貿易赤字は66%減の4,400万米ドル

ジンバブエ国立統計局 (ZimStat) は最新の報告書で、「11月のジンバブエの貿易赤字は4,690万米ドルで、10月の1億3,780万米ドルの赤字から66%減少した」と述べた。

11月の輸出総額は9億520万米ドルで、10月の6億9810万米ドルから29.7%増加した。輸出上位品目は、金の半加工品、タバコ、ニッケルマットで、輸出総額のそれぞれ39.7%、30.5%、11%を占めた。主な輸出先は、アラブ首長国連邦 (輸出総額の40.5%)、中国、南アフリカ (それぞれ19.9%) であった。この3か国は総輸出額の約80%を占めた。輸入総額は9億5,210万ドルで、10月の8億3,590万ドルから13.9%増加した。輸入上位品目は、鉱物燃料、鉱物油および鉱物製品、機械および機械器具、穀物、車両で、総輸入額のうち、それぞれ22.1%、11.9%、9.1%、7.6%を占めた。(31日付ヘラルド紙ビジネス1面)

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/trade-deficit-narrows-66-percent-to-us44m/>